

平成28年度 第2回松江市歴史まちづくり推進協議会 議事録

○開催日時：平成29年2月10日（金）10：00～12：00

○場 所：松江市役所 西棟5F 防災センター

○出席者：（委員）出席 12名

浅田純作 委員（会長）、安部登 委員、大北哲也 委員、杉岡直子 委員、高橋一清 委員、中島紋子 委員、西村成人 委員、原美江 委員、広江みづほ 委員、福村敬香 委員、藤居由香 委員、藤原亮彦 委員

※五十音順

欠席 2名 丹羽野裕 委員、錦織裕司 委員

（市）

吉山 副市長、永島 歴史まちづくり部次長、飯塚 まちづくり文化財課専門幹、石原 公園緑地課長、山本 観光施設課長、古藤 都市整備部次長、稲田 史料編纂課長、花形 松江歴史館事務局長、桑垣 商工企画課企画振興係長、金山 まちづくり文化財課歴史まちづくり係長、古瀬 まちづくり文化財課文化財保護係長、赤澤 埋蔵文化財調査室調査係長、内藤 まちづくり文化財課主任、坂本 まちづくり文化財課主事

○傍聴者：1名

○会議次第

1. 開 会

2. 挨拶 吉山副市長

3. 報告事項

①歴史的風致維持向上計画の認定状況【資料1】

4. 議 題

①平成28年度松江市歴史的風致維持向上計画進行管理・評価シート（案）について【資料2・3】

②松江市歴史的風致維持向上計画（変更案）について【資料4・5・6】

5. 閉 会

[10時00分 開会]

事務局（永島歴史まちづくり部次長）

[開会・資料確認]

事務局（吉山副市長）

[挨拶] 歴史まちづくりに関する新たな動きとして「登録歴史的建造物3件登録」と「景観計画重点区域の拡大（北堀町惣門橋通り景観形成区域）」について紹介。

事務局（永島歴史まちづくり部次長）

[進行交代] 議事進行は浅田会長へ

浅田会長

本日は報告事項が1つ、議題が2つ用意されています。まずは、報告事項①「歴史的風致維持向上計画の認定状況について」事務局から説明をお願いします。

事務局（金山まちづくり文化財課係長）

それでは報告事項①「歴史的風致維持向上計画の認定状況について」ご説明いたします。【資料1】認定自治体が59都市になったことや、現在、認定都市のない14の都道府県に対して国が計画を策定するように働きかけているとのことなどについて説明。

浅田会長

只今の説明に対して、ご意見ご質問はありますか。特にないようですので、次に議題①「平成28年度松江市歴史的風致維持向上計画進行管理・評価シート（案）について」事務局から説明をお願いします。

事務局（金山まちづくり文化財課係長）

それでは、議題①「平成28年度松江市歴史的風致維持向上計画進行管理・評価シート（案）について」【資料2・3】に基づいてご説明いたします。

【資料2】歴史的風致維持向上計画の進行管理・評価の概要

評価の方法として「毎年度、施策・事業の進捗状況を評価する進捗評価」と「3年度毎に計画方針の達成状況や事業の質を評価する総括評価」の2種類があることや、評価シートを公表するまでの今後のスケジュールなどについて説明。

【資料3】平成28年度松江市歴史的風致維持向上計画進行管理・評価シート（案）

松江市歴史的風致維持向上計画に掲載している各事業の進捗や基本方針の達成状況などについて、様式1～4のシート毎に説明。

浅田会長

只今の説明に対してご意見ご質問はありますか。それでは私の方から2つご質問いたします。1つ目は総括評価シートについて「想定通り効果が発現している」との評価になっており全体的としては良いと思いますが、個別的には「舟つきの松公園整備事業」がありますので、但し書き等の記載は必要ないものでしょうか。

2つ目はまち歩きガイドについて、観光客や市民に対する情報発信はどのように行っていますか。

事務局（金山まちづくり文化財課係長）

先ず、舟つきの松公園整備事業を含む総括評価についてですが、この事業も評価の対象となる3か年のうち2か年は基本計画策定や実施設計などを予定通り実施しておりますし、また、全体としても他の事業が予定通り進捗しておりますので、「想定通り効果が発現している」という評価にしています。但し書き等の必要性については念のため国土交通省に確認いたします。

次に、まち歩きガイドに関する情報発信について、お問い合わせがあれば該当の公民館に確認して情報提供を行っております。ホームページなどを含めた今後の情報発信の方法については、少し検討させて頂きたいと思います。

高橋委員

まち歩きガイドについて、観光客向けのものは松江観光協会が窓口となって情報発信や受付を行っています。個人的な感想としては、8割くらいの観光客は食事を含めて1時間以内のまち歩きを希望されますので、なかなかこちらが企画するような詳しいガイドを行うことが難しいです。また、学校の授業として行う場合、先生が事前に予習して子供たちに教えるというのが本来の姿であると思いますが、ボランティアガイドに丸投げされているケースがあり残念です。

それから私は「古都松江」の編集者として歴史的な建物のまち歩きなどの企画も行っておりますが、まち歩きに関する歩道整備については、整備ための整備とならないように、まち歩きの企画に応じた整備をおこなって頂きたいと思います。

杉岡委員

まち歩きについては、松江市中心市街地活性化基本計画の中でもその重要性や課題について掲載しておりまして、私も高橋委員と同じ意見で、歩いて頂くためという視点での整備をお願いしたいと思います。また、これはまちづくりコーディネーターである私の役目かもしれませんが、観光、商工、歴史まちづくりなどまち歩きの関係者が、一度、集まって研修会のようなものを行うとよいと思いますのでご提案させていただきます。

浅田会長

まち歩きに関する歩道整備など歴史まちづくり関連の事業は、企画段階での優先すべきポイントなどが通常の道路整備とは少し違うのかもしれませんが、先程のご意見について事務局からコメントをお願いします。

吉山副市長

まち歩きについては、市全体として観光関連で行うものと、公民館区ごとに各地域で行うものに大別されます。松江市は地方創生の取り組みの中で一昨年、総合戦略を策定し、公民館を各地域の拠点として地域内の歴史的な資源を活かしながら産業振興や活性化を図っていくこととしております。各地域のまちづくりを行う上で、このまち歩きというものが非常に重要なキーワードとなってくるので、これからも関係者の皆さんと連携して取り組んでいきたいと思っております。

福村委員

カラコロ工場の整備事業について、屋根が整備されて良かったと思いますが、建物本体もかなり老朽化しておりますので、耐震化を含めた改修の検討をお願いします。

事務局（桑垣商工企画課係長）

カラコロ工場は大変古い建造物ですので、現在、修繕工事などを計画的に行っておりまして、今後も指定管理者である松江ツーリズム研究会と連携して計画的に実施していきたいと思っております。

西村委員

歴史的建造物保全継承事業について、今後の見通しとして、どの地域でどれくらい行うというような予定があれば教えてください。

事務局（永島歴史まちづくり部次長）

歴史的建造物調査は平成26年度から実施しておりまして、現在、建物外観の1次調査を947件、詳細な2次調査を42件実施しております。今後の見通しとしては平成29年度に旧城下町で2次調査を7件予定しております。そして、この調査の結果をもとに登録候補を選考し、その中から所有者の承諾が得られたものについて、歴史的建造物としての登録を目指します。

安部委員

松江の城下町というのは、国宝松江城と一体的なものですので、国宝並みのまちづくりが必要であると思っております。私は松江城の隣にある興雲閣が松江郷土館だった時代に10年間勤め、多くの観光客のご意見を聴いてまいりましたが、皆さんが異口同音

に言われることとしては、松江城周辺には3つのものが不足しているということです。

先ず、一番多い意見としては駐車場の不足です。大手前の駐車場だけでは足りず、黒田町やくにびきメッセ前などを紹介されますが、観光客がそこで降りて歩いて来るということは現実的に難しいので、松江城周辺に観光客用の駐車場をどのように整備していくかが大きな課題だと思います。

次に多い意見としては、お食事処の不足です。松江の特産品であるシジミや出雲そばを食べられるところが近くにありません。

そして3つ目はお土産屋さんの不足です。近くに島根県観光物産館がありますが、観光客の意見としては、デパートのような物産館ではなく、まち歩きを楽しみながら地元の専門店で買い物をしたいと言われます。多くの観光地には門前町というものがあってお食事処やお土産屋があるものですが、松江にはそのような専門店はなく、逆に近年、空き家が目立つようになってきています。このような現状から、松江市は観光都市として重要なものが不足していると感じます。

浅田会長

この問題は公共交通やパークアンドライドなどの施策とトレードオフ（二律背反）の関係にあり難しい課題だと思いますが、事務局からコメントをお願いします。

吉山副市長

先ず、駐車場の不足については、松江市議会でも度々、議論になっておりますが、なかなか方向性を見出せない難しい課題です。解決にあたっては、松江の人口減少や財政状況など社会的な情勢も踏まえながら議論して、方向性を出していく必要があると考えております。

次に、お食事処やお土産屋について、大手前付近に新たなお食事処が出来たり、蕎麦屋さんがあつたりもしますが、多くの観光客がまち歩きで求めるような形にまではなっておりません。一方でご指摘の通り、空き家の問題もありますので、そういったところがお食事処やお土産屋として有効活用ができないかという視点も含めて総合的に検討してみたいと思います。また、これらの課題解決に向けては松江市全体として関係部署が情報を共有し、共創の発想のもと民間の方々とも一緒になって取り組んでいきたいと考えております。

大北委員

先程の安部委員の発言をヒントにしての発言ですが、あまり大規模な事業をしないでもやり方次第で出来ることもあるのではないかと思います。例えば、大型バスで来られる団体観光客には大手前駐車場で降りてもらい、観光後に今度は大手前から2～300m離れた別のところで乗ってもらいます。こうすることにより、個人観光客が大手前に停めやすくなりますし、大手前と乗車スポットの間にお食事処やお土産屋を

設けることで団体観光客もまち歩きを楽しみながら移動することができます。

また、空き家問題については、建築基準法の規制が柔軟な活用の妨げとなっているという面もありますので、松江市がこの規制を一部緩和する条例を別途制定することで活用の幅が大きく広がると思います。

浅田会長

只今のご提案について、現在、都市計画マスタープランの策定に携わっておられる藤居委員にコメントをお願いしたいと思います。

藤居委員

それでは都市計画審議会の立場で発言させていただきます。「観光」というのは大変浮き沈みが激しく怖いもので、石見銀山では世界遺産登録を受け観光客用の整備をしたにもかかわらず、翌年、ゲゲゲの鬼太郎が流行り、観光客が9割減少したそうです。そのような事例もありますので、観光客も大事ですが、そこに住んでいる人が勧めたいと感じるお食事処やお土産屋があるといいのではないかと思います。今、松江市では都市計画マスタープランを変えるにあたって、これまでの拠点整備という考えに加え、いろいろな世代の方が交流しながら生活していくという視点で考えております。ですから、あまり観光に特化せず、「住んでいる市民の普段の生活」を訪れた観光客がいいなど感じるような形が良いのではないかと思います。

原委員

白潟公民館の代表としてこの度、白潟にある「出雲ビル」が歴史的建造物として登録されたことは非常に嬉しいことですが、一方で山陰合同銀行旧本店の解体計画が持ち上がるなど、白潟の風情がどんどんなくなっていく気がして寂しさも感じています。

まち歩きについて、私が地域の高齢者の方々と水木しげるロードに行った時のお話ですが、皆さんはお土産屋を散策しながら約1kmを平気で歩かれました。何か楽しい仕掛けがあれば意外と歩けるものなのでそのような仕掛けも大事だと思います。

浅田会長

まち歩きや駐車場についての課題は、松江市として総合的にご検討頂きたいと思います。

高橋委員

現在、保存修理中の菅田庵について1つ提案ですが、あの茶室は本来、国宝級ものだと思いますので、修理中の状況を映像記録として是非、残して頂きたいです。映像技術が特に優れているNHKに働きかけをしてみてもどうでしょうか。

事務局（永島歴史まちづくり部次長）

菅田庵の保存修理の過程については、調査報告書を作成して写真と文書による記録をしっかりと残すということにしております。映像記録については、建物が個人所有の物件ですので、所有者に対してそういった働きかけが出来るかどうかも含めて検討してみたいと思います。

浅田会長

議案①について、他にご意見ご質問はありますか。

ここで承認を頂いてもよろしいですか。

[委員 異議なし] 承認をいただきました。

それでは、議題②「松江市歴史的風致維持向上計画（変更案）について」事務局から説明をお願いします。

事務局（金山まちづくり文化財課係長）

それでは議題②「松江市歴史的風致維持向上計画（変更案）について」【資料4・5・6】に基づいてご説明いたします。

【資料4】松江市歴史的風致維持向上計画変更の概要について説明。

【資料5】及び【資料6】認定歴史的風致維持向上計画の変更箇所について説明。

主な変更点として、「市指定文化財に塩札（松江城天守出土）」を、「景観計画重点区域に北堀町惣門橋通り景観形成区域」を、「文化財の保存活用に関する方針に松江城授業化プロジェクトの取り組み」をそれぞれ追記することや、その他時点修正を行うことなどについて説明。

浅田会長

只今の説明に対して、ご意見ご質問はありますか。

藤居委員

平成29年度の事業に向けてご提案とご質問があります。ご提案としてはこの協議会の中で、歴史まちづくり計画全体を少し振り返ることも必要ではないかと思えます。

また、ご質問としては国土交通省の補助メニューで「集約促進景観・歴史的風致形成推進事業」というものがあり、計画を策定すると補助率1/2～1/3の事業が出来るそうですが、今後策定の計画があるかどうかお尋ねします。

事務局（永島歴史まちづくり部次長）

先ず、歴史まちづくり計画全体の振り返りについては、なかなか出来ていない部分ですので、次回以降、どのような形で出来るのか考えてみたいと思います。

また、「集約促進景観・歴史的風致形成推進事業」については、居住人口を集約する

という事業で、現実的にすぐには実施することは難しいのですが、今後もう少し検討してみたいと思います。

浅田会長

議案②について、他にご意見ご質問はありますか。
ここで承認を頂いてもよろしいですか。
〔 委員 異議なし 〕 承認をいただきました。
全体を通じて、他にご意見ご質問はありますか。

福村委員

歴史的建造物についてご質問です。春日神社などもかなり傷んでいるそうですが、そういった神社の修繕などに対しても支援がありますか。

事務局（永島歴史まちづくり部次長）

現状において、神社の修繕に対する支援はありません。歴史まちづくり計画全体としては、「歴史的風致形成建造物」というものに指定して守るという仕組みもありますので、今後、少し研究してみたいと思います。

安部委員

松江城授業化プロジェクトについては、来年度もありますか。

広江委員

来年度も新しく6年生になる児童を対象に実施します。併せて、小冊子を作成して配布する予定です。

安部委員

この事業に伴って教師用のテキストを作成中のようですが、これは公民館の方が担当しておられるのですか。

広江委員

素案の段階で公民館に所属される地域の方のご意見を頂きながら行っております。

浅田会長

その他、全体を通してご意見ご質問がありますか。後日でも結構ですので、何かお気づきの点やご質問がありましたら、事務局へご連絡をお願いします。最後、事務局から何かございますか。

吉山副市長

松江市は歴史まちづくりに関する体制強化として歴史まちづくり部という部を設けて現在、総合的なまちづくりを行っておりますが、行政というのはどうしてもそれぞれの専門分野がありまして、運営面での難しさも感じております。本日、委員の皆さまから頂いた多岐にわたるご意見ご提案についてもここにいるメンバーだけでなく、建築、環境など様々な分野が関わって取り組んでいく必要があります。

また、大北委員から「やり方次第」だというお話も頂き、確かに熱意と意欲を持って行えばお金がなくても出来ることがまだまだあるということを改めて感じましたので、これからも松江市全体が一丸となってまちづくりに取り組んでいきたいと思っております。

最後に、歴史まちづくり部を統括しております藤原部長に一言コメントをお願いしたいと思っております。

藤原委員（歴史まちづくり部長）

本日は委員の皆さまからたくさんの貴重なご意見ご提案を頂いたと思っております。まちづくりというのは1つの部だけで完結できるものではなく、市の総合力を発揮しないと解決できない課題が非常に多いということを実感しております。

現在、まちづくりの基本方針となる都市計画マスタープランを策定中ですが、この計画についても実効性のあるものにするため、政策部と一緒に市内の全29公民館をまわって地域の方と意見交換を行っております。公民館区ごとにお考えになっていること、持っている歴史文化が全て違いますが、それらをどのようにまちづくりに活かしていくのか、これからも本協議会の委員の皆さまには様々な観点からのご意見ご提案を頂きたいと思っております。

最後に、私は委員という立場での出席で本日もなかなか発言がしにくいということもありました。次回以降は、事務局という立場に戻って委員の皆さまと意見交換をさせて頂きたいと思っておりますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

浅田会長

それでは、本日の議題は以上となりますので、事務局の方へお返しします。

事務局（永島歴史まちづくり部次長）

有難うございました。本協議会の議事録の確認は浅田会長一任でよろしいですか。

[委員 異議なし]

以上で、平成28年度第2回松江市歴史まちづくり推進協議会を閉会します。

[12時00分 閉会]

上記議事録内容に間違いはありません。

署名者氏名

印